

田中まどかの市議会通信 vol.22

発行責任者：日高市議会議員 田中まどか（会派 みんなの会）

2021. 7. 7 発行



「政府・国会と市議会は直結」実感した6月議会

今、日本の政策はどれをとっても、先進国とは思えない後手後手ぶりです。それが直に日高市にも影響していることをこれほど実感した議会はありません。オリンピック強行、宣言や措置の発出や解除、首相の「ワクチン接種前倒し」のひと言などに市は翻弄され、困窮家庭への給付決定が遅くて市の予算は専決処分、予算は出ても事業の詳細が未定とか、国会でのデジタル関連法強硬採決を受けて、急遽、市にも追加議案が出てきたり。それらが市民の生活や健康や個人情報保護に大きな影響を与えらると思うと、採決のたびに身が震える思いです。

ひとり親以外の困窮世帯にも給付金を支給

コロナの影響が長期化する中、ひとり親以外の低所得世帯にも児童1人につき5万円の給付が行われます。特別児童扶養手当の支給者以外は申請が必要です。子育て応援課にお問い合わせを！（これから来年2月末までに生まれるお子さんも対象となります。）

議会の多様性と男女共同参画を目指した会議規則の改正

若い人、女性、子育て中の人、家族をケアしている人など、様々な立場の人が議員になれるよう、その環境を整えるための規則改正がされました。欠席理由に育児や介護を追加。女性議員が出産前後数週間議会を欠席できることも明記しました。

デジタル関連法で自治体の個人情報保護はどうなる！？

デジタル関連法は、これまで各自治体が条例をつくって保護してきた個人情報を「保護する」よりも「利活用」することを目的としています。この関連法に基づく条例改正には反対しました。



条例改正反対討論↑

議員辞職勧告決議は違法 市を提訴したことについて

私は、2020年3月議会で可決された、「田中まどか議員に対する議員辞職勧告決議」を違法として、本年4月13日、日高市に対し、さいたま地裁川越支部に220万円の国家賠償訴訟を起こしました。

【なぜ訴えたのか】 私のこの通信やSNSでの発信が市政や議会を侮辱し、貶めるものだというのが辞職勧告決議の主な理由ですが、私は常に「事実」と「議員としての意見」を述べているにすぎません。日高市議会では長年、多数派による少数派いじめ、異論排除が行われ、特に私に対するハラスメントは常軌を逸しています。もはや議会内でこれを改善することは困難で、市民の多様な意見を反映させる議会本来の姿を取り戻すため、これから議員なる方のため、司法の判断を仰ぐしか道はないと判断しました。

【決議の違法性】 ①この決議は、私が発信した記事を故意に歪曲して評価し、多数派の権限濫用により、私の議員活動を威圧する目的で出されたものであること。②虚偽の事実を含むこと。③私に弁明の機会を与えていないこと。④あえて決議文全文を議会だよりに掲載し、私の名誉を大きく傷つけたこと。

【なぜ議会や議員ではなく、市を訴えたのか】 国家賠償法では、公務員の違法行為については自治体が責任を負います。議員は特別職の公務員なので、制度上、市を訴えることとなります。また、私の提訴の目的は議会の正常化なので、名誉棄損等で特定の議員を訴えることは考えていませんでした。

【損害賠償請求について】 本来なら辞職勧告決議撤回と謝罪を求めたいところですが、法的にそれはできないので、慰謝料という形で求めます。

【裁判】 市は応訴し、答弁書を提出。6月17日に私が意見陳述を行いました。次回期日は8月です。

※お問い合わせ、御意見は裏面の連絡先までお願いします※



経緯詳細



記者会見



意見陳述



ひだか 子どもみらい通信 vol.19

☆知って、考えたい子どもの未来☆

学校図書館が大変！

子どもの読書環境に予算と人を

市内小中学校12校を巡回し、本の整理、分類、修理、廃棄、新着本の受け入れ、子どもたちの興味をひく展示などを行っていた図書整理員さん2名が、昨年度から廃止されてしまい、そのため本の修理が滞ったり、返却された本



がすぐに書架に戻らないなど、子どもたちが読みたいときに読みたい本が手に取れない状況になっています。司書教諭や図書ボランティアの負担も大きく、児童数・蔵書数の多い学校ほど深刻です。

また、子どもの読書活動推進施策の根拠となる「第2次日高市子どもの読書活動推進計画」が2016年度から更新されていないことも問題です。(埼玉県内市町村の策定率75%、県の計画はすでに第4次に入っている)市は来年度をめどに更新するとしていますが、現計画から後退することがないよう見ていかなければなりません。

子どもの頃の読書が人生に与える影響は大きく、学力やレジリエンス(どんな環境や状況にも適応し生き延びる力)にも寄与と言われています。ここにはしっかりと予算と人をつけてほしいです。



詳しくはこちら↑

子どもへのワクチン接種

6月1日から、12~15歳も新型コロナウイルスワクチンの対象となり、日高市でも接種券の配布準備をしています。10代の重症化率は年代別で一番低く、死亡者は0人。成長期の体への影響、副反応など考え接種するか迷う方が多いと思いますが、変異株の感染力、個々の健康状態や家族構成、行動範囲なども含め、効果とリスクを考慮してご家庭で判断するしかありません。そしてその判断を周囲が尊重することが大事です。

校則の見直しについて 文科省から通知



校則の見直しについて私が一般質問した同時期に、文科省が通知を出しました。その内容は私の質問の趣旨にも合致するものでした。

- ▶校則は社会通念に照らして合理的とみられる範囲内で適切に定め、児童生徒の実情、時代の進展等を踏まえ、**絶えず積極的に見直す**こと。
- ▶児童生徒が自主的に守るよう指導すること。
- ▶校則の内容や必要性について、児童生徒・保護者との間で**共通理解を持つ**こと。
- ▶見直しの際には、児童生徒・保護者の参加、アンケート、学校ホームページへの掲載などの事例があるので参考にして取り組むこと。

教職員不祥事防止プログラムの活用を

埼玉県では、2019年度の教職員の懲戒処分件数が39件と過去10年で最多となり、特にわいせつ行為による処分は、18年度9件→19年度17件と急増。市は、県の「不祥事防止研修プログラム」を活用していくとのことですが、子どもたちのため、また教職員のために根気よく継続してほしいです。

連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台 1-29-2 TEL 090-9003-7344
ブログ：<http://madokatanaka.livedoor.blog/> FAX 042-982-0599
フェイスブック：<https://www.facebook.com/madoka.tanaka.140>
メールアドレス：madoromi29@hanno.jp

ブログ フェイスブック

